

日本RNA学会会報

No.10 (2004 年 5 月)

	目	次
会長挨拶	1
日本 RNA 学会 第 3 期評議員選挙結果について	4
日本 RNA 学会 第 3 期評議員会議事録	3
日本 RNA 学会 第 6 回総会のご案内	4
日本 RNA 学会 第 3 期役員	4
第 6 回 RNA ミーティングとシンポジウムのお知らせ (第 6 回日本 RNA 学会年会)		
第 6 回 RNA ミーティングのご案内	5
特定領域研究公開シンポジウムのご案内	11

日 本 R N A 学 会

(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)

wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/

会長挨拶

会長 渡辺 公綱

桜も散り、若葉がまぶしい春酣の時節を迎えていますが、皆様にはますますご活躍のことと存じます。さて、日本 RNA 学会の第三期の評議員が選出され、4月16日に開催されました評議員会におきまして、第三期の役職の分担が決まり、私が会長職に就かせて頂くことになりました。

第一、二期の会長を務めて下さいました志村令郎先生は任期満了のため退任されましたが、評議員として今後ご指導いただきます。先生には本学会の立ち上げから今日の隆盛に至るまで大変ご尽力下さいましたことを、この場をお借りして改めて深く感謝申し上げます。また会長を補佐し、学会の円滑な運営に貢献された井上庶務幹事はじめ第一、二期の役員の皆様にも厚くお礼申し上げます。新しく役員に加わられた先生方には大変ご苦勞様ですが、学会の興隆のため、ご尽力賜りたくよろしく願いいたします。

日本 RNA 学会は平成11年に会員数約200名でスタートしましたが、会員数はその後も順調に増加し、昨年には500名を超えるまでに成長し、この第5回年会は海外12カ国からの招待者40余人を加えた国際シンポジウム「RNA 研究のフロンティア」として画期的な成功を収めました。この成功には本学会と常に密接な連携をとり、相互扶助、共存共栄の関係を築いてきた文部科学省科学研究費補助金特定領域研究班（代表中村義一東大教授）の絶大な協力が大きく貢献しています。

第三期におきましても、志村会長が創設された路線を踏襲し、中村先生の特定領域研究班との良き連携を維持しながら本学会をさらに発展させ、時機を見て日本学術会議へ参加するための行動をとること、さらに近い将来国際 RNA ミーティングを招致するための礎石を築くこと、を当面の課題としたいと思います。また本学会の特徴である若手研究者の更なる結集と彼らの研究交流活動への支援を強化したいと考えています。

ご承知のように、RNA 研究は2002年末の *Science* の記事を引用するまでもなく、近年急速にその重要性が世界的に認識されるようになり、まさに一大成長期に入ったといえるでしょう。どうか会員の皆様も *originality* の高い優れた成果を挙げられ、日本の RNA 研究を世界に範たらしめるよう一層のご奮闘をお願いいたします。

何分微力ではありますが、皆様のご協力を得まして、ますます日本 RNA 学会が豊かなものになるよう精一杯努力する所存です。これまでも増したご支援とご協力を賜りたく、どうぞよろしく願いいたします。

日本 RNA 学会 第 3 期評議員選挙結果について

挙公示： 会報 9 号
投票締切日： 2004 年 2 月 25 日
開票日： 2004 年 3 月 1 日
開票場所： 神戸大学 自然科学 1 号館 403 号室

有権者数： 531 名
投票総数： 69 通
有効投票数： 68 通
無効（開票後）： 1 通

得票上位 10 名、および次点は下記の通りとなりました（敬称略、50 音順）。

井上邦夫、井上丹、内海利男、大野睦人、坂本博、
塩見春彦、谷時雄、中村義一、松藤千弥、渡辺公綱

次点 志村令郎

* 中村先生がご多忙のため評議員を辞退されたのに伴い、次点の志村先生が繰り上がることとなりました。

皆様ご協力いただき、誠に有り難うございました。

選挙管理委員会

井上 邦夫

中村 輝

藤原 俊伸

日本 RNA 学会 第 3 期評議員会議事録

日時： 平成16年4月16日（金）12時30分から13時30分
場所： 虎ノ門パストラル 新館「さつき」
出席者： 井上邦夫、井上 丹、内海利男、大野睦人、塩見春彦、志村令郎、
谷 時雄、松藤千弥、渡辺公綱、中村義一（オブザーバー）
欠席者： 坂本 博

1. 志村令郎第2期会長が開会挨拶を行った。
2. 井上邦夫第2期庶務幹事・選挙管理委員より、第3期評議員選挙結果が報告された。
3. 中村義一氏は第3期評議員に選出されたが、多忙のため就任を辞退したい旨の申し出があり、これを了承した。これに伴い、次点の志村令郎氏が繰り上がって第3期評議員に就任した。なお、中村氏には、アドバイザーとして随時助言していただくこととなった。
4. 第3期評議員の互選（但し、志村評議員は2期連続で会長を務めたため、今回は被選挙権を持たない）により会長の選出を行った。この結果、渡辺評議員が第3期会長に選出された。
5. 渡辺第3期会長が議長を引き継ぎ、会長就任の挨拶を行った。
6. 副議長として井上丹評議員が選出された。また、渡辺第3期会長から各幹事の指名があり、これを了承した。会計監査は、太田成男氏、正木春彦氏に決定した。
7. 谷時雄第3期評議員・集会幹事から、第6回年会準備状況が報告された。
8. 松藤千弥第2期会計幹事から、第5回年会・国際シンポジウムの決算についての報告があり、第2期会計監査による監査を受ける旨が説明された。

（第2期庶務幹事・井上邦夫）

日本 RNA 学会 第 6 回総会のご案内

第 6 回 RNA ミーティングの第 2 日目に、日本 RNA 学会第 6 回総会を下記の要領にて開催致しますので、多くの会員のご出席をお願い致します。

(会長 渡辺 公綱)

記

日時： 平成 16 年 8 月 5 日 (木) 午後 5 時 30 分～6 時 30 分

場所： 熊本テルサ、テルサホール (熊本市水前寺公園)

ご欠席の会員は、この会報に添付されている委任状をご送付ください。締め切りは、7 月 23 日 (金) です。

日本 RNA 学会 第 3 期役員 (平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月)

会長 渡辺公綱

評議員 井上邦夫、井上 丹[○] (副議長)、内海利男[○]、大野睦人、
坂本 博[○]、塩見春彦[○]、志村令郎[○]、谷 時雄[○]、松藤千弥
([○]印は第 2 期より連続して評議員に就任された方々です。)

庶務幹事： 鈴木 勉

会計幹事： 河合剛太

編集幹事： 吉久 徹

集会幹事： 谷 時雄、武藤あきら

会計監査： 太田成男、正木春彦

第6回 RNA ミーティング（日本 RNA 学会年会）のご案内

昨年の RNA ミーティングは、11月に国際シンポジウムとして開催致しましたが、今年度は再び今までのスタイルに戻り、文部科学省特定領域研究「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク（RNA 情報網）」公開シンポジウムの翌日より、会場を熊本テルサに移して開催致します。真夏の「火の国」熊本で熱い討論が繰り広げられることを主催者、スタッフ一同期待しております。どうぞふるってご参加下さいます様、ご案内申し上げます。

会 期： 2004年8月4日（水）～8月6日（金）

会 場： 熊本テルサ

〒862-0956 熊本市水前寺公園 28-51

電話：096-387-7777（代表）

※ 前回の会報には熊本県民交流館（パレアホール）での開催とご案内しておりましたが、会場を 熊本テルサ に変更致しました。お間違いのなき様ご注意ください。

スケジュール：

8月4日（水）

8:30～ 受付開始／ポスターセットアップ
9:30～12:00 Opening Remarks／オーラルセッション
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 ポスターセッション＜1＞
15:00～18:00 オーラルセッション

8月5日（木）

8:30～ 受付開始
9:00～12:00 オーラルセッション
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 ポスターセッション＜2＞
15:00～17:30 オーラルセッション
17:30～18:30 日本 RNA 学会総会
18:30～19:00 ポスター撤去
19:00～21:00 懇親会 ＜会場 熊本テルサ内「たい樹」 参加費：無料＞

8月6日（金）

8:30～ 受付開始
9:00～12:00 オーラルセッション
Closing Remarks
13:30～ 阿蘇山半日観光（希望者）

演 題

口頭発表1会場（60題程度を予定）

ポスター発表（8月4日、5日の2日間。セッション2回）

口頭発表希望者が多数の場合は、プログラム委員会で要旨を審査させていただいた結果、ポスター発表とさせて頂く場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

Scientific Topic

1. non-coding RNA・RNAi
2. リボザイム・RNA デザイン
3. RNA プロセッシング・核外輸送
4. tRNA・リボゾームと翻訳制御
5. RNA 品質管理・安定性制御・RNA 局在
6. RNP 高次複合形質と疾患

プログラム委員

井上邦夫（神戸大学）

塩見春彦（徳島大学）

井上 丹（京都大学）

鈴木 勉（東京大学）

大野睦人（京都大学）

中村義一（東京大学）

河合剛太（千葉工業大学）

谷 時雄（熊本大学・世話人）

坂本 博（神戸大学）

参加費

学会当日、参加費受付にてお支払い下さい。

	日本 RNA 学会会員	日本 RNA 学会非会員
一 般	13,000 円	18,000 円
学 生	5,000 円	7,000 円

非会員の方には、日本 RNA 学会の年会費相当分の金額を参加費に加算させて頂いております。まだ本学会へご入会を頂いていない方で、今回のミーティングへの参加をご希望の方には、学会へのご入会をお勧め致します。入会申込み方法の詳細に関しましては、次ページの参加および発表申込の中でご案内しております。

参加費の領収書をご希望の場合は、学会当日受付デスクにて発行致します。必要な方はお申し出下さい。

参加および発表申込

1. 発表者として応募できるのは、平成16年度日本RNA学会年会費既納の本学会員に限られます。

代表発表者になれる発表は1人1題までとします。他の発表の連名者になることは差し支えありません。

新規入会手続きおよび年会費支払いに関するお問合せは、(財)日本学会事務センターまでお問合せ下さい。

【日本 RNA 学会への入会方法】

年会費および入会金

入会費：1,000 円

年会費：一般会員年額 5,000 円

学生会員年額 2,000 円

賛助会員年額一口 30,000 円（入会金は不要）

日本 RNA 学会へ新規入会をご希望の方は、入会申込書に必要事項を記入し、下記の連絡先まで郵送または FAX にてお送り下さい。

折り返し、日本学会事務センターより年会費振込用紙が届きます。

[入会申込先]

(財) 日本学会事務センター 会員業務部 日本 RNA 学会年会係

〒113-8622 東京都文京区本駒入 5-16-9

TEL : 03-5814-5810 FAX : 03-5814-5825

2. 発表申込締切日：**平成16年6月15日(火) (必着)**
3. 参加登録申込締切日：**平成16年7月30日(金)**
締切日以降も受付致しますが、準備の都合上、なるべく期日までにお申込み下さいますようご協力願います。
4. 宿泊申込締切日：**平成16年7月14日(水)**
宿泊申込先は**JTB京都支店**です。詳細は13ページをご覧ください。
5. 発表および参加登録申込は次の事項について、電子メールでご返送下さい。
送信先メールアドレス：rna2004@sci.kumamoto-u.ac.jp
 - 1) お名前（漢字とふりがなの両方）
 - 2) 所属および身分
 - 3) 連絡先（郵便番号・住所・E-mail・TEL・FAX・）
 - 4) 日本RNA学会会員かどうかについて（会員・非会員）
 - 5) 8月5日開催の懇親会（無料）のご出欠
 - 6) 発表の有無について

- 7) 発表する場合
- a) 発表形式の希望（オーラル・ポスター）
 - b) 発表題目
 - c) セッション分野（6ページのScientific Topic番号でお答え下さい）
 - d) キーワード5つ
 - e) 要旨 Microsoft Wordで作成、保存し、添付送信して下さい。
10ページの要旨見本を参考にして、必ず、以下の項目に従って作成下さい。
 1. 用紙はA4サイズで、マージンは上下40mm、左右35mmです。
 2. フォントは、日本語は明朝、英語はTimes, Times New Roman等を使用し、ポイントは12ポイントでお願いします。
 3. 和文タイトル、著者、英文タイトル、著者の順に並記して下さい。
 4. 和文タイトル、英文タイトルともBoldをかけて下さい。
 5. 発表者には○印をつけて下さい。
 6. 要旨集サイズはA5になります。お送り頂いたA4原稿をそのまま縮小印刷しますのでご留意下さい。
 7. 要旨のファイル名は発表者の氏名にして下さい。

その他

- 1) 第6回日本RNAミーティングのホームページアドレスは
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2004/> です。
会議内容の詳細はホームページ上にて随時更新してご案内させていただきます。
- 2) 会議内容に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい。
なるべく電子メールでのご連絡をお願い致します。

年会専用メールアドレス：rna2004@sci.kumamoto-u.ac.jp

連絡先： 世話人 谷 時雄（熊本大学）
参加登録および年会事務担当 東 牧子（東京大学）

第6回RNAミーティング（第6回日本RNA学会年会）事務局
熊本大学理学部生物科学科生体機能学講座 谷研究室内
〒860-855 熊本市黒髪2-39-1 電話・FAX：096-342-3461
年会専用E-mail：rna2004@sci.kumamoto-u.ac.jp
年会ホームページ：http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2004/

- 3) 宿泊のご案内
昨年の国際シンポジウム「RNA研究のフロンティア」に引き続き、今年もJTB京都支店より特別価格にて熊本市内のホテルをご用意しております。インターネットのホテル申込等と比較しても、お得な価格となっておりますので、是非ご利用下さい。詳細は13ページです。

4) 阿蘇山半日観光について

RNA ミーティング終了後、阿蘇山への半日観光を予定しています。阿蘇山は九州のほぼ真ん中に位置し、今も活動を続けている活火山です。雄大な世界最大級のカルデラ（その広さは東西 18km、南北 24km に及ぶ）は一見の価値ありです。観光バス（バスガイド付き）でのツアーになりますので、50 名程度の参加希望者がある場合に催行致します。

- ・日 時： 平成 16 年 8 月 6 日（金） 13:30 熊本テルサ前集合
- ・参加費： 2,500 円（火口への往復ロープウエー代含む）
- ・コース： 熊本テルサ（13:30 発）－大観峰（壮大なカルデラ地形が眼前に開けます）－阿蘇山頂（ロープウエーで火口まで）－草千里（雄大な草原、火山博物館、レストハウスあり）－熊本テルサもしくはホテル日航付近(19:00 頃着)
- ・参加申込： rna2004@sci.kumamoto-u.ac.jp 宛メールにてお申し込み下さい。参加および発表申込時にあわせてお申し込み頂いても結構です。

- ・申込締切： 7 月 15 日（木）

Microsoft Word で作成し、ファイル名を発表者氏名にする。例) Mizuki.doc、水城.doc 等
マージン：上下 40mm・左右 35mm あける。 ポイント：12 ポイント
フォント：日本語は明朝体。英語は Times、Times New Roman 等を使用する。

分裂酵母 mRNA 核外輸送変異 *ptr8* とヒトコケイン症候群の関連

○水城 史貴¹，並木 健¹，古川 博美¹，大島 靖美¹，谷 時雄²

(¹九大院・理・生物科学 ²熊本大・理・生物科学)

発表者に○印

タイトル
Bold

A possible relation between the mRNA export mutation *ptr8* and human Cockayne syndrome

○Fumitaka Mizuki¹， Takeshi Namiki¹， Hiromi Furukawa¹， Yasumi Ohshima¹， Tokio Tani² (¹Dept. Biol., Kyushu Univ., ²Dept. Biol.Sci., Fac. of Sci., Kumamoto Univ.)

我々は mRNA 核外輸送に関わる因子の同定と解析を目的として、分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* を用いて制限温度下で mRNA 核外輸送が阻害される 11 種類の温度感受性変異株(*ptr1~11*;poly A⁺ RNA transport)を分離し、それらの原因遺伝子の解析を行った。それらのうち、*ptr8*⁺遺伝子は転写因子複合体 TFIIF の構成因子ヒト XPB/ERCC3 と高い相同性を示すタンパク質をコードしていることを昨年度の本大会において報告した。ヒト XPB/ERCC3 は色素性乾皮症の原因遺伝子として知られており、その変異株は UV に対して高感受性である。*ptr8-1*における UV 照射に対する感受性を調べたところ、許容温度 26°C 並びに準許容温度 30°C において高い感受性を示し、Ptr8p は分裂酵母におけるヒト XPB/ERCC3 の機能的相同因子であると結論された。

ptr8-1 変異株では制限温度にシフトしても、遺伝子の転写や成熟 mRNA へのプロセッシング反応は正常に行われる。しかし、生成された成熟 mRNA の核外輸送は制限温度下で迅速に阻害され、タンパク質合成も急速な低下が観察された。また、Ptr8p は mRNA 核外輸送における機能が他の生物においても共通に見られるか調べたため、出芽酵母における Ptr8p 相同因子の温度感受性変異株 *ssl2-rtt* を用いて *in situ* hybridization を行った。その結果、*ssl2-rtt* においても制限温度下で mRNA 核外輸送阻害が観察され、Ptr8p の mRNA 核外輸送における機能は生物種間で保存されていると推定された。興味深いことに、ヒト XPB/ERCC3 は色素性乾皮症だけでなく、極度の生育阻害や知能障害を主症状とするコケイン症候群や硫黄欠乏症毛髪発育異常の原因遺伝子としても知られている。従来、これらの疾患は転写症候群として知られてきたが、以上の結果は、コケイン症候群を含むいくつかの症候群は mRNA 輸送症候群ともいうべき新たな病態カテゴリーに含まれるべき疾患である可能性を示唆している。

**文部科学省特定領域研究
「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク (RNA 情報網)」
公開シンポジウムのご案内**

第6回 RNA ミーティングが開催される熊本市内で、特定領域研究「RNA 情報網」の公開シンポジウムを以下のように開催します。多数の皆様のご来聴を期待しています。

日 時：2004年8月3日（火）13：30～18：00

会 場：ホテル日航熊本 5階「阿蘇」
〒860-8536 熊本市上通町 2-1
電話：096-211-1111（代表）
※ 公開シンポジウムは RNA ミーティングと会場が異なりますので
ご注意ください。

参加費：無料

スケジュール（予定）：

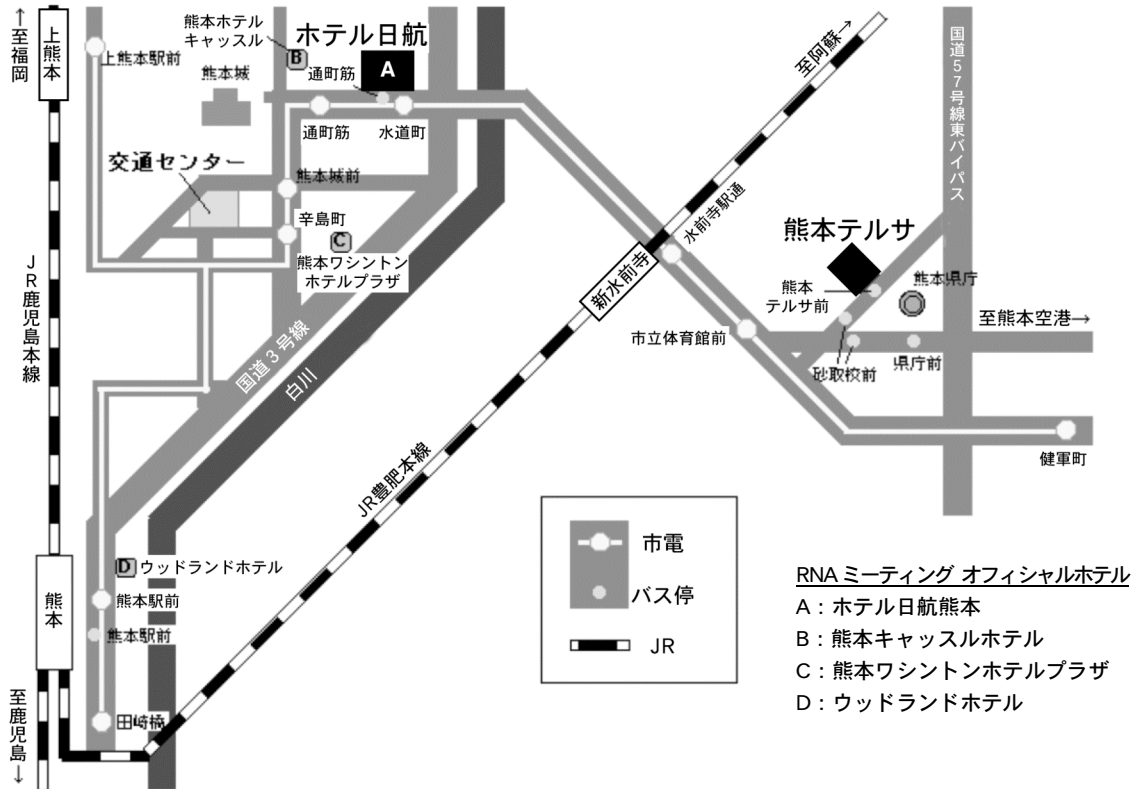
12:00～ 受付開始
13:30～18:00 公開シンポジウム
18:30～20:30 懇親会

＜ホテル日航熊本 7階ガーデンバンケット（会費制）＞

連絡先：特定領域研究「RNA 情報網」庶務担当 坂本 博（神戸大学理学部）
お問い合わせは下記までお願いします。

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学理学部生物学科 坂本研究室
事務担当：田畑 智子
電話：078-803-5794
ファックス：078-803-5720
電子メール：tabata@biol.sci.kobe-u.ac.jp
ホームページ：<http://db.shichiou-net.jp/rna/>

会場案内図



熊本空港から熊本市内への行き方

リムジンバス：

熊本空港～交通センター：所要時間 約 50 分。運賃 670 円

熊本空港～熊本駅：所要時間 約 60 分。運賃 670 円

タクシー：所要時間 約 45 分 運賃約 5,000 円

会場までの交通アクセス

特定領域研究公開シンポジウム（8月3日）

会場：ホテル日航熊本

最寄り駅：路面電車、市営バスともに「通町筋（とおりちょうすじ）」下車。

（空港リムジンバスも通町筋に停車します。）

交通センターから通町筋までの所要時間：路面電車、市営バスともに約 5 分。徒歩約 15 分。

JR 熊本駅から：市電 健軍方面行 乗車。通町筋下車。約 15 分。タクシー約 10 分。

第 6 回 RNA ミーティング（8月4日～6日）

会場：熊本テルサ

最寄り駅：路面電車「市立体育館前下車」。バス停より徒歩 15 分。

熊本空港から：リムジンバスで「熊本県庁前」下車（所要時間 30 分）。バス停より徒歩 15 分。

交通センターから：

市立体育館前までの所要時間 路面電車 約 15 分 運賃 150 円。

市営バス（県－3 長峰団地行）熊本テルサ前下車。所要時間約 25 分。

産交バス（県庁経由）砂取校前下車。所要時間 20 分。バス停より徒歩 10 分。運賃 200 円。

JR 熊本駅から：

市立体育館前までの所要時間：路面電車・バスともに約 30 分。

タクシー約 25 分。：路面電車 180 円。バス 260 円。

第6回日本 RNA 学会年会 《宿泊のご案内》

この度、上記学会に出席されます皆様方のご便宜を図るため、宿泊のお世話を JTB 京都支店にて取り扱わせていただくことになりました。

弊社では、この学会のため特別割引料金でお部屋を確保し、御案内させていただいております。

ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお早めにお申込み下さい。

1. **宿泊期日** : 2004年8月2日(月)チェックイン～8月7日(土)チェックアウト 5泊まで可
2. **宿泊料金** : 一泊朝食付、サービス料・税金込みの一人様料金です。

クラス	ホテル名	お一人様料金		最寄り駅への 所要時間
		ツイン	シングル	
A	ホテル日航熊本	¥10,000	¥12,000	JR 熊本駅より市電(健軍方面行き)通町筋駅下車直ぐ
B	熊本ホテルキャッスル	¥8,000	¥10,000	JR 熊本駅より市電(2号線)市役所駅前下車徒歩3分
C	熊本ワシントンホテルプラザ	¥7,000	¥8,000	JR 熊本駅より市電(2号線)辛島町駅下車徒歩4分
D	ウッドランドホテル	—	¥5,700	JR 熊本駅より徒歩1分

3. お申し込み方法

銀行振込の場合 : 宿泊申込書に必要事項をご記入の上、宿泊予約金(ご希望ホテルの1泊分)をお振込下さい。入金確認後、宿泊確認書を送付いたします。残金はホテルチェックイン又はチェックアウト時に御精算下さい。

クレジットカードの場合 : 宿泊申込書に必要事項及び、カード会社名、カード番号、有効期限等をご記入され、署名の上、ご送付下さい。宿泊予約金(ご希望ホテルの1泊分)をお引き落としの手続き後、宿泊確認書を送付いたします。残金はホテルで御精算下さい。

4. お申し込みの締め切り日

2004年7月14日(水)

※締め切り以降もお部屋に余裕があれば、受け付けます。
お問い合わせ下さい。

5. 取り消し料

取り消し及び変更は、書面にて郵送または FAX にてお早めにご連絡下さい。すべてのご予約をお取り消された場合、下記の取り消し料を差し引いた残額を後日ご返金いたします。

宿泊日の9日前まで	2日～8日前	前日	当日・不泊
1,000円	宿泊料金(1泊)の20%	80%	100%

6. お申し込み・お問い合わせ先

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 JTB 京都支店

「第6回日本 RNA 学会年会」係り

担当: 竹下・空谷 TEL: 075-361-7241 (月曜～金曜 9:00～17:00) / FAX: 075-341-1028

第 6 回日本 RNA 学会年会 《宿泊申込書》

FAX 075-341-1028

No. _____

以下の通り申し込みます。

申込日 月 日

代表者氏名	所 属
宿泊確認書送付先住所 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 〒 -	
TEL : () - FAX : () -	

ふりがな (必ずお書き下さい) 氏 名	宿 泊 日					希望ホテル名	部 屋 タイプ		予約金 (希望ホテルの 1泊分)
	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6		S	T	
ふりがな ----- 漢 字							S	T	
ふりがな ----- 漢 字							S		
ふりがな ----- 漢 字							S	T	
ふりがな ----- 漢 字							S		

希望日に○を印してください。

T: ツイン・ルーム S: シングル・ルーム

[支払方法]

銀行振込 私は、上記ホテルの予約金 ¥ _____ を下記銀行に振込にて支払います。

銀行名: UFJ銀行 千代田支店 口座名: (株)ジェイティービー (京都支店)

口座番号: 普通預金口座 5407875

クレジットカード

私は、上記ホテルの予約金 ¥ _____ を下記カードにて支払います。

カード会社名 JTBカード VISA ダイナース UC NICOS
JCB DC MC AMEX MASTER

カード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

カード有効
期限 _____ 年 月

カード使用者名 _____

カード使用者署名 _____

送付先：(財) 日本学会事務センター 会員業務部 日本 RNA 学会年会係
 FAX：03-5814-5825
 〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 TEL：03-5814-5810

日本 RNA 学会入会申込書

申 込 日：平成 年 月 日

フリガナ		性 別	男 ・ 女		
氏 名		生年月日	年	月	日生
		入会年度	年度		
現住所	〒 TEL FAX E-mail				
所属機関 名 称					
所在地	〒 TEL 内線 FAX E-mail				
学 歴	大学	学部	学科	課程	年卒業
	大学院		研究科	専攻	年在学
職 名		学 位			
専門分野					
会員種別	[一般会員 ・ 学生会員] を○で囲んで下さい。				
連絡先	[現住所 ・ 所属機関] を○で囲んで下さい。				

※ 会員番号 ()

※ 入会登録日 ()

日本 RNA 学会 会報

第 10 号 (2004 年 5 月)

発行・製作：日本 RNA 学会 編集幹事

連絡先：名古屋大学

物質科学国際研究センター 吉久 徹

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

電話：052-789-2950 (直通)

FAX：052-789-2491

E-mail：tyoshihi@biochem.chem.nagoya-u.ac.jp